

平成 2 1 年度当初予算 施策別概要

3 4 1 医療体制の整備

(主担当部：健康福祉部)

34101	患者本位の医療の推進	(健康福祉部)
34102	県立病院の医療サービス提供	(病院事業庁)
34103	救急・へき地医療体制の整備	(健康福祉部)
34104	がん診療体制の整備	(健康福祉部)
34105	骨髄バンク、臓器移植等の推進	(健康福祉部)
34106	難病患者等の支援	(健康福祉部)
34107	医療分野の人材確保	(健康福祉部)
34108	適正な医療保険制度の確保	(健康福祉部)

< 施策の目的 >

(対象) 県民一人ひとりが

(意図) 必要とする適切な医療を受けている

< 施策の数値目標 >

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
地域の診療所・病院から地域医療支援病院への紹介率	目標値	-	63%	77%	78%	80%
	実績値	62%	76%			

かかりつけ医である地域の診療所・病院から専門的な医療等後方支援の役割を担う地域医療支援病院への紹介患者の割合 (紹介率 = 地域医療支援病院における初診医療の中の紹介診療の割合)

県の取組目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
地域医療支援病院から地域の診療所・病院への紹介率	目標値	-	48%	57%	58%	60%
	実績値	47%	56%			
難病相談支援センター登録患者数	目標値	-	780 人	1,200 人	1,300 人	1,400 人
	実績値	731 人	1,100 人			
医療相談件数	目標値	-	610 件	650 件	690 件	730 件
	実績値	573 件	634 件			

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 三重県保健医療計画 (第 4 次改定) および三重県地域ケア体制整備構想にもとづき、疾病の急性期から回復期、維持期に至るまで、切れ目のない医療、保健、福祉サービスが提供される体制整備に取り組んでいます。
- ・ 限られた医療資源の有効活用に向けて、県民の適切な受療行動を促す啓発の取組を進めるとともに、セミナー等の開催により医療の機能分化を推進する気運の醸成をはかっています。
- ・ 県立病院の在り方については、病院事業の在り方検討委員会からの答申を最大限尊重しつつ、市町、三重大学などの意見も十分聴いたうえで、県立病院の方向性など県としての考え方をまとめる必要があります。
- ・ 初期、二次および三次救急医療の機能分担を進め、地域における救急医療体制の再構築を支援していますが、救急医療に従事する医師の確保が課題となっています。また、三次救急医療体制の充実に向けて、新たな救命救急センターの指定や、県内全域を対象とする県独自のドクターヘ

りの導入について検討を進めています。

- ・ 三重県がん対策戦略プランの改定を行うとともに、緩和医療の充実に向けて、新たにごん診療連携拠点病院の医師を対象とした研修を実施しました。今後も引き続きがん診療に従事する人材の育成をはかっていく必要があります。
- ・ 難病患者等への支援として、重症神経難病患者とその家族が安心して在宅療養生活を送ることができるような支援システムの構築に取り組んでいます。
- ・ 抜本的に改正した医師修学資金貸与制度により、新たに 61 名に対して修学資金を貸与しました。さらに、ドクタープール制度、みえ医師バンクを活用して医師の確保に取り組んでいますが、県内の医師不足は依然として厳しい状況にあります。
- ・ 看護職員の確保・離職防止については、離職者が多い中堅看護職員の定着を支援するため、サポーターをモデル病院に派遣するなど、中堅看護職員の負担軽減の取組を進めています。

<平成21年度の取組方向>

疾病の急性期から回復期、維持期に至るまで、医療、保健、福祉の切れ目のないサービスが提供される体制整備をめざし、各地域における関係機関の連携を促進します。

医療資源の有効活用に向けて、引き続き県民に対する啓発の取組を充実するとともに、迅速かつ適切な医療情報の提供に努めます。

県立病院の今後の方向性など開設者である県の考え方を踏まえて、新しい経営計画（当面の運営方針）に沿って医療の質の向上に努めるとともに、経営の改善に取り組めます。

救急医療機関における医師の確保を支援するとともに、病院前救護体制の充実、および初期、二次、三次救急医療の機能分担を促進し、地域の救急医療体制の充実・再整備をはかります。

三次救急医療体制の充実をはかるため、新たな救命救急センターの指定と県内全域を対象とした県独自のドクターヘリの導入について、具体的な検討を進めます。

三重県がん対策戦略プランにもとづき、放射線療法や緩和ケアなどがん医療を充実するための人材育成に取り組むとともに、患者やその家族に対する相談体制の充実をはかります。

医療機関、NPO等との連携を緊密にし、骨髄バンクや臓器移植等の普及啓発を行います。

三重県難病相談支援センターや難病医療連絡協議会等との協働で、難病患者等へのきめ細かな療養・生活支援を行います。

医師修学資金貸与制度の活用等により、県内全域の医師不足の早期解消に向けて取り組むとともに、三重大学医学部の定員増を踏まえ、地域医療に従事する医師の養成と県内定着の促進をはかります。

不足する看護職員の確保に向けて、引き続き看護職員の定着促進、病院内保育に対する支援、再就業の促進、養成所に対する支援に取り組めます。

平成21年4月1日に公立大学法人三重県立看護大学を設立し、自律的かつ弾力的な大学運営を行っていきます。

<主な事業>

(一部新)(重)医療機関機能分化推進事業【基本事業名：34103 救急・へき地医療体制の整備】
予算額：(20) 35,435千円 (21) 47,076千円

事業概要： 限られた医療資源を有効に活用するため、セミナーの開催等により県民への啓発を行い、医療機関の機能分化を推進します。また、安全で安心な「お産」ができる体制を整備するため、助産師養成所の設置支援など、助産師の確保と資質向上をはかります。

県立病院の医師・看護師確保定着事業【基本事業名：34102 県立病院の医療サービス提供】

予算額：(20) 177,380千円 (21) 182,451千円

事業概要： 県立病院で働く医師・看護師の確保のため、医師の研修環境の充実や新人看護師の技術支援、院内保育の充実、看護師修学資金の貸与等に取り組みます。

病院事業会計支出金【基本事業名：34102 県立病院の医療サービス提供】

予算額：(20) 6,501,336千円 (21) 7,415,762千円

事業概要： 政策医療に要する経費、不採算な経費等について、負担・補助等を行います。

(新) 県立病院改革推進事業【基本事業名：34102 県立病院の医療サービス提供】

予算額：(20) 千円 (21) 42,790千円

事業概要： 『病院事業に対する考え方』に基づき、今後も県民に良質な医療を継続して提供できるよう改革の準備を進めます。

(一部新)(重) 救急医療体制再整備・医療情報提供充実事業【基本事業名：34101 患者本位の医療の推進】

予算額：(20) 187,411千円 (21) 219,872千円

事業概要： 県民への医療情報提供および病院前救護体制の充実をはかり、救急病院における勤務医の確保を支援すること等により、地域の救急医療体制の再整備を促進します。

(一部新)(重) 総合的がん対策推進事業【基本事業名：34104 がん診療体制の整備】

予算額：(20) 58,002千円 (21) 66,704千円

事業概要： 三重県がん対策戦略プランにもとづき、放射線療法や緩和ケアなどがん医療に従事する人材育成をはかるとともに、患者やその家族に対する相談体制を充実します。

難病相談・支援センター事業【基本事業名：34106 難病患者等の支援】

予算額：(20) 10,193千円 (21) 9,228千円

事業概要： 三重県難病相談支援センターにおいて、地域で生活する難病患者やその家族等の日常生活における相談・支援、地域交流活動の促進、就労支援などを実施します。

(一部新)(重) 医師確保対策事業【基本事業名：34107 医療分野の人材確保】

予算額：(20) 175,383千円 (21) 337,356千円

事業概要： 新たな医師修学資金等貸与制度の活用等により、医師の確保を進めます。また、三重大学医学部の定員増を踏まえ、卒前・卒後教育の充実に取り組むとともに、医師不足地域の病院を支援します。

(重) 看護職員確保・離職防止充実事業【基本事業名：34107 医療分野の人材確保】

予算額：(20) 45,037千円 (21) 49,316千円

事業概要： 看護職員を確保するため、修学資金の貸付、病院内保育所設置に対する支援等を行うとともに、中堅看護職員の離職防止対策に取り組みます。

(新) 公立大学法人関係事業費【基本事業名：34107 医療分野の人材確保・養成】

予算額：(20) 千円 (21) 845,158千円

事業概要： 公立大学法人三重県立看護大学が自律的かつ弾力的な運営をするために必要な経費を運営費交付金として交付します。